

名前：

21世紀を生きている私たちは、必要な時はいつ、どこでも自由にインターネットが使える。それはたしかに前にはそう思うこともできなかつたすごいことだ。インターネットを通じて私たちは外国に住んでいる友達とのメールのやり取りぐらいが、世界の起こることすべてを知ることができるようになった。では、新聞や雑誌ではなく、インターネットを利用してすべての情報を分かるようになった今、新聞や雑誌は必要なものなのか？

私は、私たちが昔のどんとうを守ることに同じく新聞や雑誌も守るべきものだと思う。たしかに、本を読む時間よりインターネットを使う時間が多い私は、ニュースやまんがまでパソコンで見ることがある。でも、それはひまつぶしやいっしょの楽しみでしかない。本を借りる時やレポートを書く時は新聞や雑誌や本を利用して情報を集めることが多いのだ。それにはいくつかの理由があるが、その一は情報の信用性だ。私たちがインターネット

を使う時、大抵に考えるのはスピードだ。そのせいでインターネットで見られるのは、いいだけで記事の事実性や記者の考えなどは探るのが大変なわけだ。新聞や雑誌ならきれいな文ででき、事のくわしい説明やいろんな人の意見、記者の考えなどが乗せているのだから、どうせなら信用することが難しいのだ。

または、情報はもろくも壊れることもある。本の時代で作られた場合は時間がたっても長い間ほそんでいくのにインターネットはきかしの問題でたくさんのしりも全部失ってしまうきけんせいがあるのだ。

ほかにも教育のためとか社会のためなどいろいろな理由があるが、たいひょう的に上の二つのことで私は新聞や雑誌はこの世で必要なものだと思うのだ。必要なさそうに見えやすいものもそこにはかならずそんな理由があるのだ。